

PITCH DECK

# デザイン演習

# 中間発表

## 解決したい課題

---

子どもの体験格差

解決したい課題

---

# 民間学童の費用高騰

## サービス概要

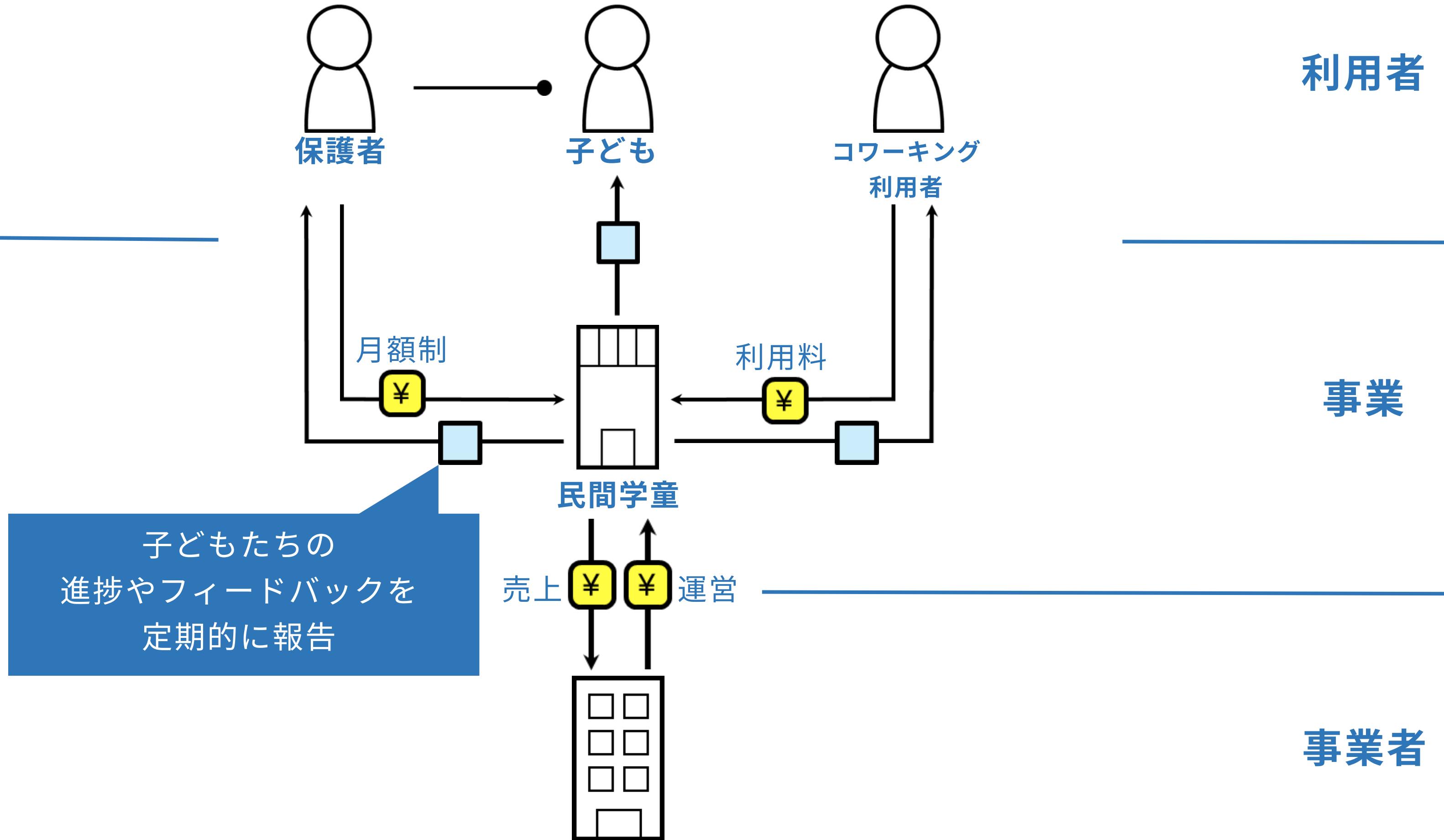
---

**コワーキング×探求型学童**

# コワーキング スペース

学童

# ビジネスモデル



# 3C 分析

## 顧客

- ・探求型教育に関心のある保護者
- ・共働きで遅くまで預かってくれる
- ・コワーキングスペースを必要とするフリーランサー、リモートワーカー、スタートアップ企業
- ・朝活をしている人

## 競合

- (Kids Duo)
  - ・学童保育×英会話
- ・LITALICOジュニア
- ・ソーシャルスキル&学習教室
- (TECH PARK 「Groobenauts」 )
  - ・テクノロジー学習＆アフタースクール
- (CANVAS)
  - ・

## 自社

SWOT分析へ  
→

# SWOT

## Strengths (強み)

- ・勉強のサポートや新しい体験ができる
- ・クリエイティブな才能を鍛える
- ・最先端技術の体験
- ・学童以上塾未満

## Weakenesses (弱み)

- ・限られた営業時間
- ・初期費用の高騰
- ・管理が複雑

## Opportunities (機会)

- ・在宅勤務の普及や主婦の副業等によるコワーキングスペース需要の拡大
- ・探求型教育の普及

## Threats (脅威)

- ・学童や塾の活動の幅拡大
- ・経済の変動によるコワーキングスペースの利用率の変化

# STP分析

## Segment

- ・小学生の子供がいる親
- ・探求型教育を求める家庭
- ・自宅以外で働くスペースを求めるリモートワーカーやフリーランサー
- ・朝活を始めたい人

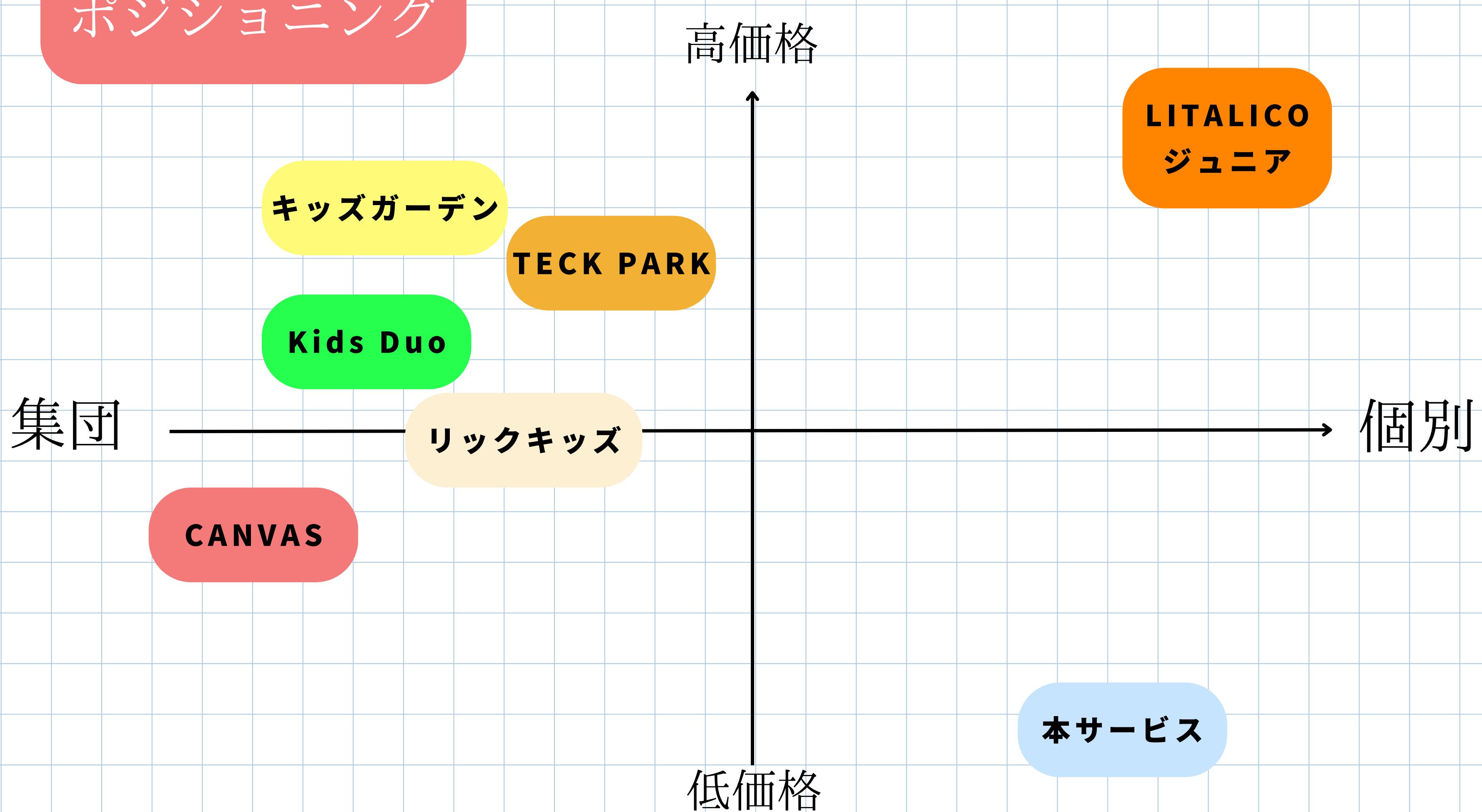
## Target

探求型教育に  
価値を見出す  
保護者

## Position

ポジショニングへ  
→

ポジショニング



## USP (Unique Selling Proposition)

学童施設を効率的に活用し、  
質の高い探求プログラムを  
より多くの子どもたち提供する。

パートナー	主要活動	価値提案	顧客との関係	顧客
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの企画・実施</li> <li>・子どもたちの指導・サポート</li> <li>・新しい技術やトピックに関する研修や更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の学童機能（放課後のケア、宿題時間）とともに、プログラミングや3Dプリンター、3DCGの体験学習</li> <li>・子どもが主体的に楽しみながら学ぶ環境の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの進歩や体験のフィードバックを定期的に親に報告</li> <li>・親子での参加イベントやワークショップを定期的に開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の子どもを持つ親</li> <li>・放課後のケアや教育に関心があり、新しい体験を求める家庭</li> </ul>
	主なリソース		チャネル	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室や施設</li> <li>・プログラミングや3Dプリンター、3DCG関連の教材・機材</li> <li>・専門的な知識や技術を持つスタッフ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域のイベント、口コミ</li> <li>・ウェブサイトやSNSを通じた情報提供・宣伝</li> <li>・地域の情報誌や新聞などの広告</li> </ul>	
コスト構造		収益の流れ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持・運営費</li> <li>・教材・機材の導入・更新費</li> <li>・スタッフの人事費</li> <li>・マーケティング・広告費</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月額制の会費</li> <li>・体験レッスンやワークショップの参加費</li> </ul>	

## フェルミ推定

---

事業に対する需要はどのくらいあるのだろうか？

⇒横浜市中区で1か所開所した場合、1ヶ月の利用者数はどれほどあるのか？

放課後児童クラブの登録児童数：1,392,158人（2022年）

：1,348,275人（2021年）

：1,311,008人（2020年）

※ 厚生労働省調査

全国児童数：6,151,305人（2022年）

：6,223,395人（2021年）

：6,301,000人（2020年）

※ 文部科学省調査

## フェルミ推定

---

全国の児童数：6,151,305人（2022年）

放課後児童クラブの登録児童数：1,392,158人（2022年）

⇒22.6%が学童を利用している

都市部での利用数が多いと仮定し、25%が利用しているとする

横浜市中区の学童数（放課後児童クラブ・キッズクラブ）：13カ所

横浜市中区の小学生の数：6,484人（2022年）

横浜市中区の学童の1か所あたりの利用者数：124人

プログラミング教室の数：14

プログラミング教室の利用者数： $\alpha$

⇒学童として開所した場合、120名程の利用者がいると推定

パー パス

# 豊かな世界へのきっかけを より身近に

私たちは人々が充実感を享受できる世界を目指します。その充実は思いやりある人同士の支え合いで生まれるものと考えます。

それには社会を支える者たちが必要です。そんな人となれる環境、仕組みを作ることを理念とし、豊かな世界の実現をめざします。